株式会社TSUJIYA GROOVE

所在地：京都市下京区南町511　ツジヤビルヂング3階
HP：http://www.kyoto-tsujiya.com/
SNS：https://www.instagram.com/tsujiya_yakitori/
取材日：2025／1／10

ホームページ　Instagram

社長インタビュー

株式会社TSUJIYA GROOVE　代表取締役　辻英知（つじひでとも）

Profile

出身地	：京都府京都市	学生時代の活動	：アメリカ民謡研究部
出身校	：ラーメン大学	好きなスポーツ	：テニス
生年月日	：1975.2.20	好きな本のジャンル	：スポーツ漫画全般
趣味	：キャンプ、テニス	好きな言葉	：幸せはもうソコにある
血液型	：不明	得意な料理	：やきとり

Q：辻社長、今日はよろしくお願いします。まず最初に株式会社TSUJIYA GROOVEの事業内容から聞かせて頂けますでしょうか？



2009年に創業し、現在は京都を中心に「つじや」という屋号で６店舗のやきとり店を運営しております。【SMILE 目の前の大切な人の笑顔のために】を理念に掲げ、世界一ステキなやきとり屋さんを目指して簡単なようでむずかしいやきとりの本質を日々追求している会社です。

Q：ありがとうございます。辻さんはSignというバントでボーカルを務めメジャーデビューまでされたと伺っております。なぜ飲食業界に飛び込まれ、なぜやきとりという業態を選ばれたのでしょうか？

音楽も飲食業も、目の前にいるお客さまに喜んでいただく、という意味で共通していたからなんですよ。音楽をやっていたときはステージにスポットライトがあたり、そこに上がる僕たち目当てでお客さまが来られます。その期待に応え喜んでいただくことが僕の喜びでもあったんですね。この仕事も同じでオープンキッチンにスポットライトがあたり、美味しい料理と心温まる接客でお客さまを笑顔にできます。そんな考え方がもともとあって、最後にはバンド仲間とケンカしちゃって。結果、解散してしまうんですが、これから何しようかと思ったときに、やっぱりこれからもお客さまを喜ばせたい！と思って始めたのがやきとり屋だったんです。理由はやきとりが好きだったからですね。やきとりってシンプルが故にむずかしいんですよ。微妙な塩加減や串の刺し方、炭の組み方などによって味が変わります。つまり正解がないってことなんですが、だからこそ美味しさを追求する奥深さに惹かれてやりとり屋を始めたんですよ。

Q：お客さまの喜びをエネルギーに変え、世界一ステキなやきとり屋さんを目指される辻さんですが、今も昔も変わらない大切にしている理念があればお聞かせください。

【SMILE 目の前の大切な人の笑顔のために】です。これのみですね。ライブに来られる方へもそうでしたし、つじやへ訪れる方へもそうですし、もっというと自分にかかわる方を笑顔にするためですよね。もちろん家族も。今こうやって思い返すとそれは昔からそうで、今後もずっと変わらない人生や仕事における行動や決断を導くためのエネルギー源になっているんです。



社長インタビュー

Q：お相手の喜びのため。笑顔のため。ついお金に目線がいきがちな資本主義社会においてなかなかそうは思えなかったりしますよね。その素敵な理念を従業員さんに浸透させるのはそう簡単なことではないと思うんですが、その辺りはいかがですか？



「遊び」と「学び」をセットで考えています。まず「遊び」からですが、仕事抜きで色んなレクリエーションを通して仲間同士の絆を深めていきます。その次に目の前のお客さまを笑顔にするにはどうしたらいいのか？を学び理念を体現していきます。つまり、仕事（仕えること）が先にこないということですね。先にくるのは志事（志すこと）なんです。でもですよ。「君の志はなんだ！？」なんて眉間にシワを寄せてて聞いても、聞かれた方はビックリしてしまいますよね。ですので、まずは遊びを通して絆を深めるところから始めています。

Q：とすると従業員さんは自分の志がなんなのか？についてはどのように認識するのでしょうか？

入社時の研修で「自分理念」を設定していただきます。僕の自分理念は「目の前の人の大切な笑顔」ですが、それは人それぞれなんですよね。最近ですと「地域のためになりたい！」とか「社会問題の解決に貢献したい！」なんていう志をもった方も増えてきました。そういった「何かの役に立ちたい！」という志を体現してもらうためにお店で使った古油をリサイクルして社用車の燃料にしたり、本来、ゴミ箱行きである卵の殻なんかも生産者さんの畑の肥料として還元したりしています。キレイごとでもなんでもなく、僕たちは本気でここに取り組んでおります。何かの役に立ちたい！その志が体現できる会社を作ることが僕の役割だと思っております。



Q：何のために働くのか。本当に考えさせられますね。ありがとうございます。続いて御社の人事制度なども伺いたいのですが、ここではあえて、「TSUJIYAGROOVEとは従業員さんにとって、果たして一体どんな会社なのか」についてお聞かせください。

自分らしくいられる居場所だと思っております。自分らしく、というのは自分理念のことですね。そして、その理念を周りの仲間が応援してくれます。なぜなら遊びを通して絆で結ばれているからですが、応援されるということはすなわち、自分理念が承認されるということに他なりません。こんな居場所はそうないと思うんですよね。さらに店長になると自分理念の他に店舗理念も自由に決めることができます。そうするとお店のスタッフからはもちろんのこと、お客さまの笑顔が増えることになれば、関わるすべての方に承認してもらえることに繋がるんですよね。

Q：ちょっと想像するだけでゾクゾクするものがありますよね。御社では「何かの役に立ちたい！」という人があわせ持つ本来の欲求を満たせる場でもあるんですね。終盤ですが、辻さんの考える飲食業の素晴らしさをお聞かせください。

弊社もそうであると自負していますが、やはり自分らしくいられる居場所、ということだと思います。それこそが最も素晴らしいことですよね。また、IT化が進む社会の中でも、飲食業は人のぬくもりが必要不可欠な産業です。そのぬくもりは人に心の豊かさを伝えることでき、IT化が加速する時代だからこそ、その価値は一層際立ちます。味覚や嗅覚はまだデジタル化が難しいとされており、飲食業は今後も成長が期待できる産業だと思います。日本はIT、自動車、PC、ネットなどの分野で世界的に遅れをとりました。そんな日本を支えるのが飲食業です。「和食」がユネスコ無形文化遺産に認定されたように、和食と日本ならではのおもてなしの心が、これからを支え続ける大きな力になると考えています。

Q：ありがとうございます。最後に読者の皆さまへメッセージをお願いします。

最近ですと、採用条件など表面的な部分だけがフォーカスされがちです。確かにそれも大切です。かくゆう弊社も定められた労働基準はしっかりと守っています。しかし、本質は「あなたは誰を何でどう喜ばせたいですか？」だと思います。それができれば自分らしくいられるわけですからね。ここに共感される方はぜひ、TSUJIYAGROOVEで輝いてほしいなと思います。

スタッフインタビュー

株式会社TSUJIYA GROOVE　総務課チーフ　藤原絵梨（ふじわらえり）



Q：続いて総務課チーフの藤原さん、よろしくお願いします。辻さんから「藤原は守備のカナメである」と伺っております。どんなお仕事を中心にされているのでしょうか？

現場が働きやすい環境を作るため、部署の垣根を超えて様々な仕組みづくりに取り組んでいます。お客さまを笑顔にすることを最優先にし、たとえば請求書払いを希望されるお客さまへの対応や、損益管理ツールの使いやすさの向上を進めています。加えて、現場から寄せられた課題の処理や、上層部の指示を現場に伝えるHUBの役割も担っています。

Q：ありがとうございます。どのような経緯で入社をされたのでしょうか？

私は高校３年生のとき、アルバイトでこの会社に関わるようになり、大学卒業と同時に正社員として入社いたしました。その間、お歳暮などの包装作業やお豆腐屋さんのお仕事も掛け持ちでしていたのですが、結構、理不尽な怒られ方をされてしまったんです。しかし、この会社だけはそんなことを感じることがありませんでした。むしろ、私のために優しく丁寧に説明してくれたんです。そこに温かさを感じ入社を決めました。

Q：藤原さんが設定された「自分理念」はどういったものだったのでしょうか？

「社員さんに安心して働いてもらえるようにサポートしたい」です。安心してストレスなく働ける環境を作り、環境と一緒にその想いが現場のスタッフにも伝わり、最終的にはお客さまの笑顔に繋がれば良いなと考えて設定した理念でした。



Q：既に入社したころには、会社のために貢献することを志とされていたんですね。そんな藤原さんですが、現場をサポートされる中で「良かったな」と思うことがあればお聞かせください。

ちょっとしたアイデアで仲間を笑顔にすることができ、その笑顔が連鎖してお客さまも笑顔にできるところです。私の役割は現場が働きやすい環境を作ることです。現場から寄せられた課題を改善していく毎日の中で、ちょっとしたアイデアで「こんなに喜んでくれるんだ」みたいなことも起こってくるんですよね。そう思う瞬間が私のやりがいでもあり、良かったなと思うところです。

Q：ありがとうございます。ご自身で設定された自分理念が体現できているわけですね。

そうですね。本当に自分らしくいられる居場所だと思っています。弊社では年間通して様々なレクリエーションがあります。その中でも毎年１月に頑張ったスタッフ全員を表彰する表彰式があります。何を表彰するかというと、MVPやベストスマイル賞などですね。つまり、社員は志をもって入社し、それを自分理念とし、その行動の結果が表彰されるってことなんですね。承認されると言い換えてもいいかも知れません。賞金がでたり、過去にはUSJのペアチケットがもらえる、なんてものもありましたが、それ以上に頑張ってきた１年が表彰され承認される場がある会社であることが素晴らしいと思っています。

Q：ありがとうございます。最後になりますが読者の皆さまへメッセージをお願いします。

私は人と話すことが苦手でした。そんな自分を変えたくてこの仕事を選び、結果変わることができました。しかもTSUJIYAGROOVEの仲間と楽しみながらです。この会社は、苦手だと思っていることも楽しみながら成長できる会社です。ぜひ一緒に楽しみましょう。